

新潟東港バイオマス発電所（50MW）につき 310 億円のプロジェクト・ファイナンスを調達し、設計・建設の着工指示を実施

2021年8月26日 - アジア太平洋地域における再生可能エネルギーおよび廃棄物インフラ開発のリーディングカンパニーであるエクイス・デベロップメント・ピーティーイー・リミテッド（「エクイス」）は、三井住友信託銀行および第四北越銀行を中心とした 14 の金融機関から、日本の新潟県に建設する 50MW の新潟東港バイオマス発電所（「本プロジェクト」）に対する 310 億円のノンリコース・プロジェクト・ファイナンスを調達致しました。

また、エクイスは、本プロジェクトの設計・建設業務開始の着工指示をしました。本プロジェクトは、2022年5月に現地工事を開始し、2024年10月に商業運転を開始する予定です。本プロジェクトは、エクイスにとって、日本国内での3番目のバイオマス発電プロジェクトとなります。

エクイスは、同時に本プロジェクトの20%の持ち分を東北電力株式会社（「東北電力」）に譲渡することにより、プロジェクトを合弁化しました。東北電力は、本プロジェクトの設計・建設時にオーナーズエンジニアを務め、その後、長期の運転・保守契約に基づいて O&M 業務を受託いたします。東北電力は、本プロジェクトの敷地から 4km 以内にある東新潟火力発電所（認可最大出力 4,860MW）をはじめとする 11,299MW の火力発電所を保有・運営しています。

東洋エンジニアリングが、EPC 業者として、本プロジェクトの設計・調達・建設を実施します。また、循環流動式（CFB）ボイラと蒸気タービンについては、それぞれアンドリッツ AG とシーメンス・エナジー AG が製造元として選定されています。この3社は、バイオマス発電所の建設において豊富な経験を有しており、現在、エクイス社が開発した2つのプロジェクトを含む、日本国内の 50MW~75MW クラスのバイオマス発電所 8 つのプロジェクトにて設計・建設を行っています。

本プロジェクトは、日本の再生可能エネルギーの固定価格買取制度（FIT）に基づき、20年間固定の固定価格により、発電した電力（送電端）の100%を東北電力ネットワーク株式会社に販売します。

本プロジェクトでは、経済産業省が認定する独立した認証機関によって認証された持続可能な木質ペレットまたはパーム核殻を原料とし、日本の大手商社から最長 20 年の固定数量・固定価格の契約で供給されます。

本プロジェクトで生産されるエネルギーは、約 117,000 世帯分の家庭の年間使用電力量に相当し、年間約 190,000 トンの温室効果ガスを削減します。

エクイスの在日投資担当ディレクターの森内洋之は次のように述べています。“私たちは、地域最大の電力会社である東北電力とパートナーシップを組み、新潟に近代的でクリーンなベースロードの再生可能エネルギー発電プロジェクトを提供できることを嬉しく思います。東北電力はこの地域で高く評価されており、プロジェクトのオーナーズエンジニア、運転・保守のプロバイダーとして、地域社会を第一に考えたアプローチをもたらす最高のパートナーです。50MW の新潟東港バイオマス発電所は、エクイスにとって日本で3番目の持続可能なバイオマスプロジェクトであり、既存の産業インフラを活用して、長期的に地域社会に機会を提供します。”

エクイスは、地域に根差したバイオマス、再生可能エネルギー、廃棄物処理事業の開発・運営の専門家チームを擁しており、日本国内にも日本を拠点とする 36 名の人員を擁しております。エクイスは、オーストラリア、日本、韓国において、今後 2 年間で 20 億米ドル以上の再生可能エネルギーおよび廃棄物関連のインフラ分野への投資を計画しており、日本では、4 番目のプロジェクトとして、北海道苫小牧市にある 50MW の苫東バイオマス発電所の開発を進めており、年内にも本格的に事業化する予定です。

エクイス・デベロップメント・ピーティーイー・リミテッドについて

Equis Development Pte Ltd（以下、エクイス）は、アジア太平洋地域における再生可能エネルギーおよび廃棄物インフラの開発・運営のリーディングカンパニーであり、これまでに 220 件以上の再生可能エネルギーおよび廃棄物インフラプロジェクトを開発してきた実績を持っています。エクイス社は、オーストラリア、韓国、日本、シンガポールに拠点を持ち、アジア太平洋地域の先進国市場に注力しています。エクイスは、今後 2 年間で、オーストラリア、日本、韓国において、再生可能エネルギーおよび廃棄物関連のインフラ分野に 20 億米ドル（2,200 億円）以上の投資を行う予定です。

東北電力株式会社について

東北電力株式会社は、1951 年に設立された日本の大手電力会社の一つで、日本の本州最北端の 7 県で構成される東北・新潟エリアを中心に、企業グループを通じて発電、送電、配電、小売事業を行っている。

2019 年度の同社の販売電力量は 84,819GWh で、所有する発電設備の総出力は 16,688MW、（内訳は火力（11,299MW）、原子力（2,750MW）、水力（2,446MW）、地熱や太陽光などの再生可能エネルギー（193MW））となっています。

2019 年 1 月、東北電力は、東北 6 県と新潟県を中心に、風力発電を中心とした再生可能エネルギー 200 万 kW を開発する目標を発表しました。現在、陸上・洋上風力発電や太陽光発電など数多くのプロジェクトに参画するなど、積極的な取り組みを行っています。

お問い合わせ

エクイスセントラルサービス・ジャパン株式会社

03-6262-3260 (代表)